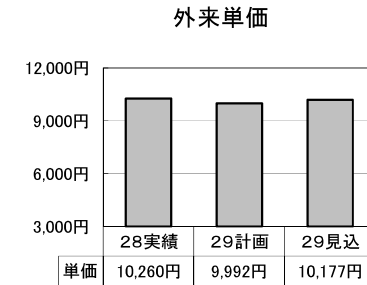
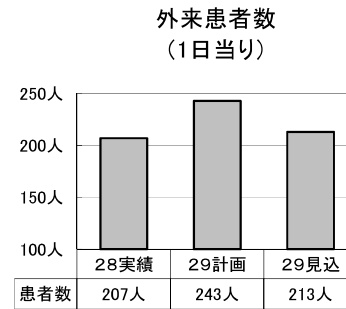
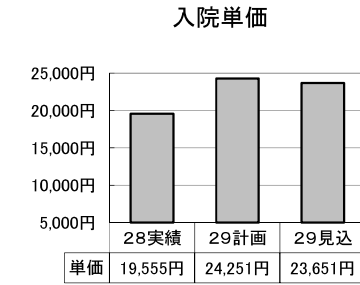
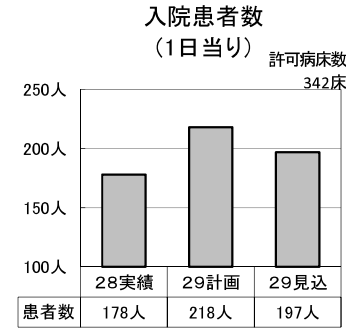
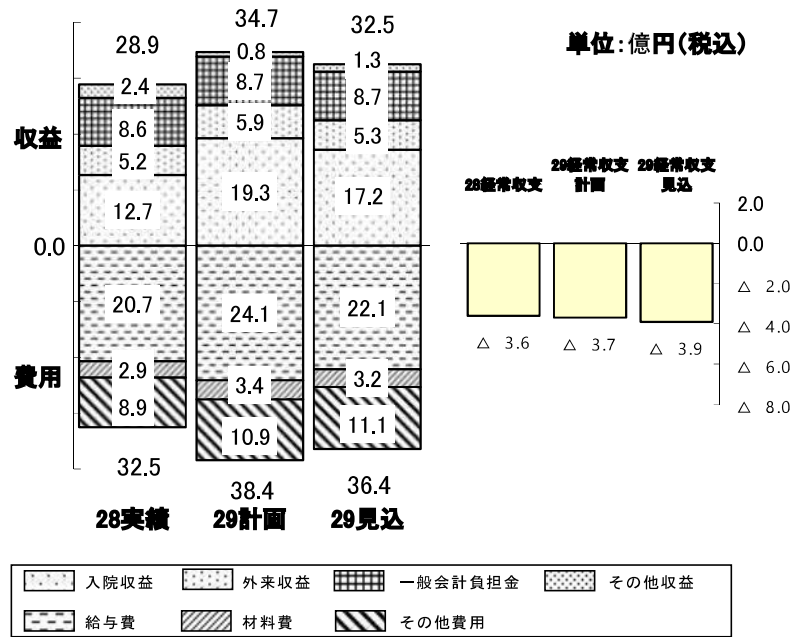


精神医療センターの取組状況

1 平成29年度計画と決算見込比較

資料5



<収益>

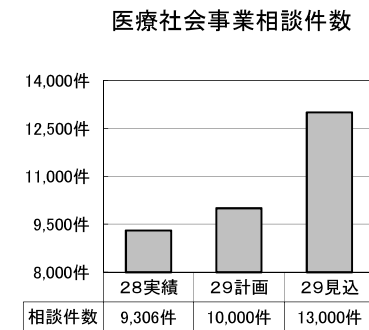
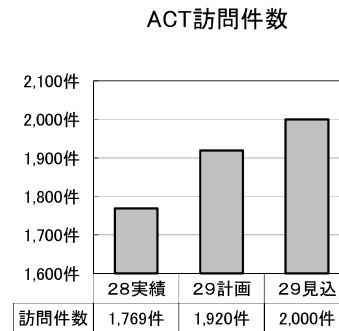
- 収益は32.5億円で、計画(34.7億円)に比較し2.2億円の減収。
- ・入院収益は、患者数が目標を下回ったことなどにより2.1億円の減収。
 - ・外来収益は、患者数が目標を下回ったことなどにより0.6億円の減収。
 - ・その他収益は、医療観察法病棟運営費等の補助金収入が計画を上回ったことなどにより0.5億円の増収。

<費用>

- 費用は36.4億円で、計画(38.4億円)に比較して2.0億円の減少。
- ・給与費は、医師等の欠員や計画と実績の単価差により2.0億円の減少。

<経常収支>

経常収支は3.9億円の赤字となる見込みで、計画(3.7億円の赤字)に比べ0.2億円下回る。



【参考】収益的収支見込（精神医療センター）

（単位：億円）

	H28 決算	H29			
		計画	見込	見込－計画	
収益	入院収益	12.7	19.3	17.2	△ 2.1
	外来収益	5.2	5.9	5.3	△ 0.6
	一般会計負担金	8.6	8.7	8.7	0.0
	その他収益	2.4	0.8	1.3	0.5
	収益 計	28.9	34.7	32.5	△ 2.2
費用	給与費	20.7	24.1	22.1	△ 2.0
	材料費	2.9	3.4	3.2	△ 0.2
	その他費用	8.9	10.9	11.1	0.2
	費用 計	32.5	38.4	36.4	△ 2.0
経常損益	△ 3.6	△ 3.7	△ 3.9	△ 0.2	
経常収支比率	88.9%	90.5%	89.3%	-1.2%	
医業収支比率	57.9%	67.7%	64.3%	-3.4%	

※ 特別利益、特別損失を除く

2 目標（成果指標）の達成状況

成果指標	単位	H28 実績	H29 目標	H29 見込	達成率
新外来患者数(初診料算定数)	人	928	1,100	1,249	113.6%
1日当たり外来患者数	人	192	243	212.6	87.5%
新入院患者数	人	652	720	687	95.4%
病床利用率	%	53.3	79.9	72.1	90.2%
平均在院日数	日	101.5	100.0	106.5	93.9%
ACT 訪問件数	件	1,769	1,920	2,000	104.2%
医療社会事業相談件数	件	9,306	10,000	13,000	130.0%

3 経営改善に関連する主要な取組

(1) センターの全面オープン

後期工事で整備してきた東棟、北棟が完成し、平成30年2月1日に全面オープンした。引き続き外構、駐車場等を整備し、すべての工事が終了するのは平成30年8月の予定。

(全面改築後の施設の概要)

名称等	業務内容	開棟時期
外来棟 地上3階建	・診察室 ・医局 ・事務部門 等	平成28年2月22日
西棟(133床) 地上4階建	・精神科救急病棟【新機能】 ・精神科急性期治療病棟 ・回復期リハビリテーション病棟 ・デイケア、作業療法部門等	
南棟(18床) 地下1階、地上2階建	・医療観察法病棟【新機能】	平成28年9月1日
東棟(122床) 地上3階建	・重症・成人発達障害病棟 【成人発達障害は新機能】 ・重症病棟 ・児童青年期病棟【新機能】	平成30年2月1日
北棟 地上2階建	・体育館 ・児童青年期デイケア【新機能】 (平成30年4月1日開設)	

(2) 児童青年期への対応強化

平成29年4月から旧病棟で先行稼働させたが、平成30年2月から新東病棟に移転し運用を開始した。

また、平成30年4月から児童青年期専門デイケアの運用を開始する予定である。

(3) 成人発達障害への対応強化

平成29年4月から医師1名確保し、専門外来は週1回から週2回へ拡充した。

平成30年4月からさらに医師1名を確保できる見込であり、医師以外の職種のスタッフの増員も見込んで、専門外来及び専門デイケアを充実させる予定である。

(4) アウトリーチ型医療(訪問支援)の推進

長期入院患者や入退院を繰り返す患者に対する退院後の地域生活支援を目的とした、多職種で構成するACTチームによる訪問看護を平成27年度から本格実施しており、訪問件数は年々増加している。

(1月当たり訪問件数 平成27年度 130件 平成28年度 147件 平成29年度 167件)
(4月～12月実績)